

令和2年4月現在 学部2年生対象

## 東京海上各務記念財団奨学生 募集要項

1. 応募資格 健康状態が良好であり、学業の成績が優秀で、家計の実情が学資を支出するに困難であると認められる者のうち、令和2年4月時点で、法、経済、理、工、農、各学部2年次生
2. 募集人数 本学から2名
3. 給付月額 45,000円
4. 給付期間 最短修業年限
5. 願書提出期限 令和2年5月13日（月）
6. 提出書類
  - ①学資給与願（指定様式）  
※手書きで作成すること。また、年号はすべて西暦で記入すること。
  - ②自己紹介書（指定様式）  
※手書きで詳細に記入すること。
  - ③家計状態申告書（指定様式）  
※手書きで作成すること  
→家族構成欄は生計を同一にしているに関わらず、兄弟姉妹等が別居の場合でもすべて記入すること（兄弟姉妹の所得については記載不要）  
→保護者それぞれの課税（非課税）証明書のコピーを添付
  - ④在学証明書（ACMから発行すること）
  - ⑤健康診断証明書（ACMから発行すること）

※成績証明書は事務で発行します。

**【学内選考資料】**

  - ⑦家族状況等調書
  - ⑧親権者の所得に関する証明書（コピー可）
7. 提出先 工学系事務部教務課学生支援担当
8. その他 海外留学支援制度あり  
採用後正規の最短修業年限までに3か月以上の留学（語学研修を除く）をする場合で、経済的必要性および実効性が認められる時は、別途奨学金を支給する。  
（詳細は財団募集要項を参照）

※応募者が先方の人数を超えた場合は、学内選考となります。また、学内選考結果については、所属の学部を通してお知らせします。

※提出された応募書類は一切返却しません。

北海道大学

【当奨学金の特色】

- 当財団の奨学生には、国内奨学金の給与に加え、海外留学を優遇する支援制度（留学奨学金および国内奨学金の1年延長）あり。
- 定期的な対話による奨学生一人一人に対するフォロー。

1. 応募資格

(1) 下記要件に適う学生とする。

- イ. 将来実業に従事し、または実業に関する学術の研究にあたらうとする志操堅固の者であること。（「広く社会の発展のために貢献する強い意欲、志のある者」の趣旨）
- ロ. 健康状態良好にして将来修学に耐えうる者
- ハ. 人格高潔にして学業の成績が優秀な者
- ニ. 家計の実情が学資を支出するに困難であると認められる者
- ホ. 2020年4月時点で第2学年に在学する者

(2) 在籍大学の推薦を受けた者

(3) 他の奨学金を受けていない者・受ける予定のない者

(注) 1) 「日本学生支援機構」(2020年4月から始まる国の新しい給付奨学金を含む) および「学内の成績優良者表彰制度等」は重複可。地方公共団体は応相談。

2) 留学のみを対象とした他の奨学金については重複可

(4) 財団行事および奨学生間の交流（含むSNS）に積極的に参加する意欲のある者

2. 指定学部および採用予定数

(1) 指定学部： 経済学部、法学部、工学部、理学部、農学部

(2) 採用予定数： 第2学年 合計2名

3. 奨学金の内容および支給期間（いずれも給与につき返済は不要）

(1) 支給金額： 月額4万5千円

(2) 支給期間： 正規の最短修業年限の終期まで（最長3年）

(3) 給付方法： 4月、7月、10月、1月に3ヶ月分を銀行振り込みする。  
別途、3か月毎、予め決められた月に在籍大学で直接面談、もしくはビデオ通話による面談を行う。

\*海外留学する奨学生に対しては、別途、海外留学支援制度あり（末尾<参考情報>参照）

#### 4. 受付期間

2020年3月14日（金）～2020年4月30日（木）（必着）

#### 5. 選考、結果の通知および授与式

財団によるビデオ面接を5月12日（火）に実施し、結果を5月19日（火）以降、本人および在籍大学に通知する。なお、ビデオ面接時間等詳細については追って本人宛連絡する。

採用された奨学生は5月下旬に東京で開催する授与式に参加すること（往復に要する新幹線乗車券または航空券は財団負担）。

#### 6. 財団のホームページ <http://www.kagami-f.or.jp/>

以上

#### <参考情報> 海外留学支援制度

種類	A. 留学奨学金	B. 在籍大学の修業期間を延長する場合の 国内奨学金（帰国後）
対象者	当財団の国内奨学生で、正規の最短修業年限までに3か月以上の留学をする者。 対象となる留学（語学研修のみは除く） ・派遣留学 ・私費留学 ・実践活動（インターン／ボランティア／フィールドワーク／プロジェクト学習）	当財団の国内奨学生で、留学を理由として在籍大学の最短修業年限を延長する者。
支給金額	最大月額 100,000円 （詳細はJASSO留学奨学金／地域別月額に準じる） 休学を伴わない派遣留学等の場合には、国内奨学金（月額45,000円）の上乗せとして上記額を支給する 別途、渡航支援金100,000円	月額 45,000円
支給期間	最長12か月	最長12か月
重複受給可否	他の留学奨学金との重複受給可 （トビタテ！、JASSO留学奨学金等との重複可）	重複受給不可 （募集要項1.(3)に準じる）

※上記A・Bいずれの奨学金も経済的必要性および実効性について審査あり

## 奨学金申請書類 記載要領

### 申請書類全般について

全ての項目を手書きで記入する。

### 「学資給与願」

#### 【応募資格の確認】(4)

財団行事および SNS については下記参照。

<参加必須の行事>

- ①授与式(含む懇親会) : 5月下旬 12:00~16:00 東京で開催
- ②OB・OGを含めた交流会 : 11月初旬 18:00~20:00 東京で開催

<参加任意の行事>

日本の文化にふれる会、奨学生向けセミナー、ASEANを知る会 等

<SNS・Facebookグループへの投稿>

奨学生間の情報交換・交流を目的としてFacebookグループを活用しており、現役奨学生は投稿必須。

### 「自己紹介書」

いずれの項目についても、意欲や熱意が伝わるように、出来る限り具体的に詳しく記入する。

### 「家計状態申告書」

#### (1)「家族と所得の状況」:

- ①父母死亡の場合は年齢欄に「亡」と記入し、離婚の場合は「生別」と記入する。
- ②兄弟姉妹がある場合、すべて記入する(但し、兄弟姉妹の所得記入は不要)。

#### (2)「本人の収入・支出(月額)」:

- ①収入・支出別に1年次における平均月額(実績)と2年次以降の(予定)を記入する。
- ②収入と支出の合計額が同額になるように記載する。
- ③「授業料」は、授業料免除がある場合、これを控除後の支払額で記入する。

#### (3)「他の奨学金」:

合計額を記入し、内訳(2020年4月から始まる国の新しい奨学金制度(JASSO 給付奨学金)、JASSO 貸与型奨学金、大学独自の奨学金等)を☆に記入する。

#### (4)「奨学金を希望する理由」:

出来る限り具体的に記入する。

## 2020年度 学資給与願

20 年 月 日

公益財団法人東京海上各務記念財団 御中

貴財団の2020年度国内奨学生募集要項に従い学資の給与を受けたく申し込みます。

大学	学部	学科	年
ふりがな 氏名		男・女	印
年 月 日 生		(満 才)	

写真を貼る位置

1. 縦36～45mm  
横24～35mm
2. 本人単身胸から上
3. 裏面のりづけ

本人住所 〒	携帯電話番号
E-mail	
①	(財団連絡用／除くhotmail)
②	(予備)
帰省先住所 〒	電話番号

学校区分	学 歴
中学	卒業 年 月
高校	入学 年 月 卒業 年 月
大学	入学 年 月

**【応募資格の確認】** 募集要項・記載要領を参照の上、に確認の✓を入れてください。

(1) 広く社会の発展のために貢献する強い意欲、志があります。 :  あります

(2) 健康状態は良好で、修学上の問題はありません。 :  ありません

(3) 他の団体（日本学生支援機構・学内の成績優良者表彰制度などは除く）の奨学金への応募はありません。 :  ありません

(4) 財団行事及び奨学生間の交流(含むSNS)に積極的に参加する意欲があります。 :  あります

# 自己紹介書

氏 名

【目指す人物像】あなたは将来どのような人物になりたいか。そのために大学4年間をいかに過ごし、何に挑戦するのか。

【問題意識】国内外の社会問題のうち、最も意識し、関心があること・それについての自分の意見

【専攻予定分野】関心のある学業分野とその理由

【卒業後の進路】将来の職業ビジョン（現時点で考えていること）

【海外留学予定・希望】有・無（希望する時期・期間・国地域・大学・専攻分野等を記入 インターンを含む）

【自己PR】

得意な学科

所属クラブ等

性格

趣味／特技

各種語学スコア・  
表彰・資格等

# 家計状態申告書

氏名

家族と所得の状況					
続柄	氏名	年令	勤務先・職名または学校名・学年	年間所得金額 (税込)	給与以外の 所得金額 (税込)
				千円	千円
父					
母					

注) 生計維持者の課税(非課税) 証明書を添付のこと (写しで可)

本人の収入・支出(月額)			
収支項目	1年次 (実績)		2年次以降 (予定)
家からの収入	円		円
アルバイト (職種: )	円		円
当財団の奨学金			45,000円
他の奨学金 (内訳を下記☆に記入)	円		円
その他収入 ( )	円		円
収入合計	円		円
食費 (本人支出分)	円		円
住居費 (家賃・光熱水道料計)	円		円
交通費	円		円
書籍・学用品費	円		円
授業料 (月平均支払額)	円		円
その他支出 ( )	円		円
支出合計	円		円
☆他の奨学金の名称	種別	期間	月額
	給与/貸与	/ ~ /	円/月
	給与/貸与	/ ~ /	円/月

奨学金を希望する理由

# 公益財団法人 東京海上各務記念財団

## 学 資 給 与 規 程

### 第1章 総 則

#### (奨学生の資格)

第1条 本財団から学資の給与を受ける者（以下奨学生という）は、大学または大学院に在学し、次の各号に該当する者とする。

- (1) 健康状態が良好であること。
- (2) 将来実業に従事しようとする、または実業に関する学術の研究に当たろうとする志操が堅固であること。
- (3) 人格高潔、学業の成績が優良であること。
- (4) 学資が豊かでないこと。

#### (奨学生の種類と学資の額及び給与期間)

第2条 1. 奨学生の種類及び奨学生に給与する学資の額は、次のとおりとする。

##### 大学奨学生

- |  |            |
|--|------------|
| (1) 下記(2)以外の者                                    | 月額 45,000円 |
| (2) 医学部専門課程3、4年在学者(専門課程の区分のない大学<br>については5、6年在学者) | 月額 45,000円 |

大学院奨学生 月額 45,000円

2. 前項の学資の給与期間は、正規の最短修業年限の終期までとする。

### 第2章 奨学生の採用と学資の給与

#### (奨学生願書等の提出)

第3条 奨学生を志望する者は、次の書類を提出するものとする。

- (1) 学資給与願/自己紹介書/家計状態申告書
- (2) 在学証明書
- (3) 現在または最近在学した学校の学業成績証明書
- (4) 健康診断書

#### (奨学生の採用)

第4条 1. 奨学生の採用は、奨学生選考委員会の選考を経て理事会が決定し、その結果を本人に通知する。

2. 奨学生として採用された者は、前項の通知を受けた日から14日以内に誓約書を理事長



あて提出しなければならない。

**(学資の交付)**

- 第5条 1. 学資は、原則として、所定月の毎月一定日に所定の月数分を交付するものとする。  
2. 学資の交付は、原則として、便宜な方法により直接本人に送金して行うものとする。

**(学業成績および生活状況の報告)**

第6条 奨学生は、毎年度末に学業成績証明書を理事長あて提出しなければならない。

**(異動届出)**

第7条 奨学生は、次の各号の一に該当する場合は直ちに届け出なければならない。ただし、奨学生が病気、その他の事由により届け出ることができないときは、在籍大学学長を経て届け出るものとする。

- (1) 休学、復学、転学、留学または退学したとき。
- (2) 停学、その他の処分を受けたとき。
- (3) 本人の氏名、住所その他重要な事項に変更のあったとき。

**(学資の休止及び停止)**

- 第8条 1. 奨学生が休学し、または長期にわたって欠席したときは、学資の給与を休止する。  
2. 奨学生の学業または性行などの状況により指導上必要があると認めるときは、学資の給与を停止する。

**(学資の復活)**

第9条 前項の規定により学資の交付を休止または停止された者が、その事由が止んで在籍大学学長を経て願い出たときは、学資の交付を復活することがある。

**(学資の廃止)**

第10条 奨学生が次の各号の一に該当すると認めるときは、在籍大学学長の意見を徴して学資の交付を廃止する。

- (1) 疾病などのため成業の見込がなくなったとき。
- (2) 学業成績または性行が不良となったとき。
- (3) 学資を必要としない理由が生じたとき。
- (4) 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき。
- (5) 在学学校で処分を受け学籍を失ったとき。
- (6) その他第1条に規定する奨学生としての資格を失ったとき。

**(学資の辞退)**

第11条 奨学生は、いつでも学資の辞退を申し出ることができる。

### 第3章 奨学生の補導

(奨学生の補導)

第12条 奨学生の資質の向上を図るため、学業成績及び生活状況に応ずる適切な補導を行うものとする。

### 第4章 補 則

(実施細目)

第13条 この規程の実施について必要な事項は、別に定める。

(規程の変更)

第14条 この規程を変更しようとするときは、理事会の議決を経て行う。ただし軽微な変更についてはこの限りではない。

### 附 則

この規程は、平成22年10月1日から適用する。

平成28年4月1日 一部改訂(第2条第1項)

平成30年3月6日 一部改訂(第5条)

大学事務局にお願いしたいこと

1. 募集要項にある採用予定数のご推薦を必ずお願いします。
2. 「成績」と「経済状態」の財団ガイドライン(目安)は下記のとおりです。多少これに外れる場合でも他に特段評価すべき点のある有望な候補者の場合には適宜ご相談ください。

財団ガイドライン

成績：上位 1/3 以内 および A (80 点以上) が 2/3 以上 (60%を下限目安) 経済状態：世帯収入 1000 万円以下
--

3. 応募書類の取りまとめと送付[4月30日(木)必着]  
(万一遅れる場合は早めにご連絡ください)

提出書類一覧 (①②③は本人が手書きで記入)

① 学資給与願
② 自己紹介書
③ 家計状態申告書〔課税(非課税)証明書添付(写で可)〕
④ 在学証明書
⑤ 1年次成績証明書
⑥ 健康診断書(*)

(\*)健康であることを前提として後日送付も可としますが、できるだけ5月19日(火)までに送付してください。

4. 奨学生候補者から財団宛メール発信  
候補者への面接スケジュールの連絡および結果の通知等は、特段問題が生じない限り財団が直接行います。

このため、候補者の正確なメールアドレスを登録することを目的として、大学推薦が決まった段階で、添付の「財団宛メールの送付依頼(重要)」を奨学生候補者へ配布いただき、確実に財団宛にメールを送信させてください。

5. 採用面接(ビデオ通話)用の部屋の確保  
Wi-Fi環境の確認をお願いします。

# 家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 \_\_\_\_\_

学生番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 所属(学部等) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_

生年月日・年齢・性別 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生( \_\_\_\_\_ 歳)(男・女)

携帯 \_\_\_\_\_ 連絡希望メールアドレス \_\_\_\_\_

本人住所 \_\_\_\_\_

## 1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、\* 欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

### ■就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

\* 父・母死亡・生別の場合: その年月( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月)

\* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月) 就労見込(有・無)

### ■本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

## 2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	

単位: 万円

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額( _____ 人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

# 家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 **北大奨学会**

学生番号 **01234567**

氏名 **北大 太郎**

所属(学部等) **文学部**

**2** 年

生年月日・年齢・性別

**1993** 年 **1** 月 **1** 日生( **20** 歳)( **男** ・ **女** )

携帯 **090-0000-0000**

連絡希望メールアドレス **syogaku@academic.hokudai.ac.jp**

本人住所 **札幌市北区北17条西8丁目**

## 1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、\* 欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

### ■ 就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
父	北大 一郎	55	会社員	××株式会社	同居・別居			
母	北大 花子	52	パート	〇〇スーパー	同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

\* 父・母死亡・生別の場合: その年月(      年      月)

\* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(      年      月) 就労見込(有・無)

### ■ 本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
弟	北大 二郎	20	私立 北海大学	1	自宅・自宅外	
妹	北大 花江	17	公立 札幌高校	2	自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

## 2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
日本学生支援機構第二種	貸与・給与	50,000	受給中・申請中・申請予定	
△△育英会	貸与・給与	20,000	受給中・申請中・申請予定	
◎◎奨学会	貸与・給与	30,000	受給中・申請中・申請予定	

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(      人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			